



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

キャリア教育研修会（教育課程研修会）

令和2年1月16日（木）実施

対象：高知市立小・中・義務教育・特別支援学校の校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教務主任・研究主任等

概要 学習指導要領の趣旨や方向性についての理解を深め、キャリア教育の視点から教育課程の編成や具体的な学習活動等を考えることによって、各学校における取組の充実を図る。

「キャリア教育」の視点からの教育課程編成について

講師：筑波大学 人間系 藤田晃之 教授



キャリア教育とは

キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育



▼ 15～24歳のフリーターは減少傾向

▼ 「非正規雇用＝罪悪感」の崩壊

→現在のキャリア教育とは、ニート・フリーター対策、勤労観・職業観の育成、職場体験に特化したものではなく、社会生活を営み、社会参画をする上でほとんどの人が必要となる力を培っていくとするもの。



キャリア教育の方向性は変わらない

四つに分類

人間関係形成・
社会形成能力

自己理解・
自己管理能力

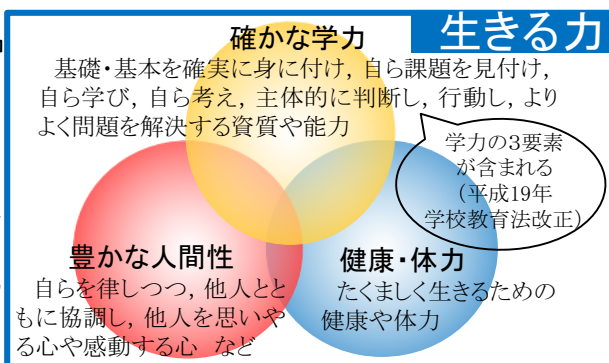
キャリア教育を通して育てる
基礎的・汎用的能力

課題対応能力

キャリアプラン
ニング能力

キャリア教育を通して育てる四つの基礎的・汎用的能力は、現行の学習指導要領で「生きる力」に内包されているものです。

新しいものではありません



キャリア教育の視点からの教育課程編成

Point
1

「スタートライン」と「ゴール」の明確化でPDCAサイクルを確立する

- 「平成20年第1期教育振興基本計画」で、既にPDCAサイクルの必要性が指摘されている。
- ＊ 現状をしっかりと認識し、どんな子どもに育てたいのかを明確にして、目標設定をしよう！
- ＊ 育てたい力が身に付いたか「アウトカム」評価をしよう！

【アウトプット評価（やるべきことをやったかどうか）ではないので注意】

Point
2

教育活動全体を通じて取り組む

- ＊ 総合・特活だけではもったいない！洗い出してみよう！
- ＊ 教育活動の中に潜んでいる宝（キャリア教育の断片）の見落とし注意！
- ＊ 新たに設定するのではなく、実践していることからキャリア教育を見付けよう！

実践

アウトプット

何を、
どれほどやったか

アウトカム
どのような成果を
挙げたか

Point
3

「キャリアパスポート」で学びをつなごう

日常のワークシート・日記・作文・自己評価など→総括ポートフォリオ

入学から卒業までの中・長期的な振り返りと見通しができるようにする。

学年・校種をまたいでもち上がり活用する。【各学年A4版（両面使用可）5枚以内程度】



【受講者の感想】

- ＊ 本校の教育計画を持参して話を聞くことができ、話の内容を実際に当てはめて考えることができた。短期的には早速教育計画の修正を行う。長期的には、キャリアパスポートのような活動を中学校と協力していきたい。
- ＊ 本校の子どもたちの実態を分析し、現状を把握し、付けたい力を考え、目標を設定すること，“アウトカム評価”につなげること等、PDCAサイクルを回すため、学んだことをもち帰り、職員に伝えたい。特活の学活(3)を要に研究1年目の本校のカリキュラム・マネジメントを見直していきたいと思う。
- ＊ 学ぶことに意義を見いだせないにも関わらず、日本の子どもたちはとても優秀であることに驚いた。でもこれは私たち教師が学びに対して意義を見いだせない授業を行っているせいであって、大変な苦勞を子どもにさせている証拠だと思うと、とても申し訳なく思った。今一度、子どもの成長度合いを考え、学期に一度は教科と行事等生活面のつながりをチェックしていきたいと思った。

第51回高知市中学校生徒会交流会リーダー研修会

令和2年2月1日(土)実施

対象: 高知市中学校生徒会役員及び生徒会担当教員

学校生活が充実するためには、各中学校・義務教育学校(後期課程)の生徒会役員がリーダーとしての自覚をもち、教職員の助言や支援を受けながら、生徒自身の力で諸活動を企画したり運営したりする力を育てる必要がある。そのために、この研修会は高知市中学校生徒会交流会運営委員会が中心となって昭和63年から行われている。



高知市生徒会
交流会
シンボルマーク

全体会Ⅰ【演習】「マネジメント力でパワーアップ! 高知商業流生徒会活動の紹介」

☆ 高知県内にとどまらず、ラオスの学校建設活動など、国内外で交流や活動を展開している高知商業高等学校生徒会執行部を招き、生徒会活動を活性化するための取組・手立てや、学校のリーダーとして身に付けておくべきこと等について学んだ。

講師: 高知商業高等学校生徒会執行部

マネジメント力でパワーアップ!

四つのポイントを合わせて生徒会活動を行うことでパワーアップする!

○ マネジメントの意味

組織が成果を上げるための方法

生徒会活動は思い付きではなく、①～④の手順で行われているものである。

- ① 計画
- ② 準備
- ③ リハーサル
- ④ 本番

さらに、成果をあげるために取り組んでいるポイントを紹介すると...

【マネジメントの活用】

ポイントⅠ 目的の設定(何をやるかではなく、一人一人が何のための活動か分かっていること)

ポイントⅡ 期限の設定(期限がないと実行はない)

ポイントⅢ 振り返り(振り返りは次への改善)

ポイントⅣ そして…決める! 決めないと始まらない!



全体会Ⅱ【交流】「楽しくやろうよ。今日はよろしくね!」

講師: 春野中学校 近藤 亮樹 校長
行川学園 萩野 隆史 先生

☆ 生徒会役員の交流による生徒会活動の活性化を目指して、執行部が自校にもち帰り自分たちで運営できるレクリエーションなどを体験した。前半のエンカウンターでは、集団ゲームを通じて他校の生徒会役員と交流を深めることができた。また後半のレクリエーションでは、「紅白合戦」というゲームでチームワークを育んだ。



頭も体も使って気軽に仲良くなれてよかった。他校の人とも打ち解けることができ、その後の活動もスムーズにできたと思う。ぜひ学校でもやってみたい。



全体会Ⅲ【実践発表】発表者: 愛宕中学校生徒会執行部、介良中学校生徒会執行部

☆ よりよい生徒会活動を目指し、他校に学ぶ機会として、高知市内の二校の生徒会による各学校の特色を生かした取組等についての発表を聞いた。

愛宕中学校の発表



【地域とのつながり】

愛宕商店街活性化の活動を行っている。

- ① 風鈴の飾り付け(毎年7月約100個の風鈴)
- ② フラワーロード
- ③ よさこい祭り前後の清掃

介良中学校の発表



【今年度の新たな取組】

生活・人権アンケート(生活編・ネット編・学習編)を行い課題を改善するための取組を行った。

- ① エンジェルウィーク
- ② SNSミニ授業

全体会Ⅳ【実践交流】「ワンランク上の生徒会活動を目指して」

全体会Ⅴ【実践交流】「ヘルメット着用アンケートを受けて」

☆ 各学校で行われている行事・委員会活動・ボランティア活動・いじめのない学校づくりの中で、生徒会が関わっている活動について、より一層パワーアップすることを目指して情報や意見を交流した。自校の生徒会活動を紹介したり、課題と感じている点を出し合ったりしながら互いに意見を交換する中で他校との交流を図った。また、2学期に各校でヘルメット着用のアンケートを行ったことを受けて、意見交流を行った。



グループ活動では、意見交換する中で、他校の取組を知ることができ、自分たちの学校にも取り入れたいと思った。自分の課題を知ることでもできた。

全体会Ⅴでは、ヘルメットの必要性を改めて考え、全校に生徒会から呼びかけをしたり、自分たちから手本を示したりしていこうという意見が出た。



ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。